



今号の特集

難聴のおはなし

2022年
8月

けいゆう病院では Web面会を実施中です！



新型コロナウイルスによる面会制限の対応として、Web面会を実施しております。
患者さんは病室から、面会者の方は当院の別室より、それぞれタブレット（またはパソコン）の画面からお顔を見ながら会話ができます。
ご希望の方は、下記ご一読のうえお申し込みください。

○ 受付方法

患者さんまたはご家族から看護師への申し入れ

○ 開催日時

平日のみ 月曜～金曜 14：30 ～ 15：30 1枠 15分
一日 4枠までといたします

○ Web面会対象者

入院中の患者・家族間でメール・ライン等で連絡を取ることが難しい方
（8F病棟小児科を除く）

発行 〒220-8521 横浜市西区みなとみらい3-7-3
一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院
TEL045-221-8181（代表） URL <http://www.keiyu-hospital.com/>





難聴の「治る」「治らない」

難聴には「治る」難聴と、「治らない」「難聴があります。急激に発症した難聴でもゆっくりと進行した難聴でも治るものと治らないものがありますので、まずは診察や検査をして診断を付けることが大切です。

ここでいう「治る難聴」とは適切なタイミングで適切な治療（薬、手術）をすることにより、治る可能性がある難聴のことを指します。「治らない難聴」とは薬や手術などの治療では治らない難聴のことを指します。

治る難聴の代表として突発性難聴、滲出性中耳炎、伝音難聴などがあり、治らない難聴の代表として加齢性難聴、先天性難聴、遺伝性難聴、特発性難聴が挙げられます。治る難聴でも治療のタイミングが遅れたり、難聴の程度が重症の場合は治らないこともあります。

難聴の症状と治療

ここでは治る難聴の代表例である突発性難聴についてお話しします。突発性難聴は急に片方の耳の聞こえが悪くなる内耳の病気です。症状の特徴は、ある時突然片方の難聴に気が付きます。耳が詰った感じや耳鳴り、めまいがでることもあり、日常生活に支障をきたすことも多い病気です。

治療は副腎皮質ステロイドという薬を中心とした薬物療法となります。治療は発症からなるべく早期に行ったほうが効果は高いと言われています。

難聴は様々な症状に悩まされる厄介な病気です。困っている全ての患者さんの助けになりたいと考えています。難聴を放っておかないで。

耳鼻咽喉科部長

山田 浩之